

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ルピナスいせはら		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内外、様々なプログラムを提供している (運動療育や音楽療育だけではなく、事業所外での活動や買い物学習など将来の自立に生きるような活動を用意しています)	・全職員で意見を出し合いながら、プログラム編成を行っています。 ・ただ楽しいだけではなく、児童の将来の自立を意識した活動を提供しています。	事業所の職員だけで考えるプログラムはいつか限界が来ると考えている。他事業の事業所や法人とのつながりをつくりながら、活動のバリエーションを増やしなから、児童や保護者に還元していきたい。
2	民間サッカークラブ(一般社団法人伊勢原FCフォレスト様)との連携がある	月に一回、伊勢原FCフォレストと合同イベントを実施しており、インクルージョンの実現に向けて試行錯誤している。	・まだはじまったばかりで、そこまでサッカーチームの児童との関わりはないが、試行錯誤していく中でより良い形が構築できるようにしていきたい。 ・ルピナスからも積極的にアプローチをし、いろいろなことを発信する等をしていきたい
3	地域とのつながりを構築しようと地域のプロジェクトに参加している	ルピナスいせはらでは現在、高森子育てプロジェクトというものに参加させていただいており、地域に根付いた事業所、貢献できる事業所を目指しています。	まだ活動としてははじまったばかりではあるが、障がい福祉という視点から地域に貢献できるように、今後も積極的に参加し、児童の支援にもつながるような活動にしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との情報共有、連携が弱い。	現状、事業所間における連携は決して強いとは言えない。各児童、相談支援事業所がついているがモニタリング等最低限のつながりのことが多い。	自ら積極的に他事業所やセンター等にアプローチをする。地域で育てる形を実現していきたい。
2	保護者会など保護者同士が関わる機会がない。家庭支援が弱い。	・保護者会または保護者やご家族参加型のイベント等は開催できていない。 ・保護者等からの相談には乗っているが、こちらからのアプローチは決して強くないと思っている。	・来年度は保護者会または保護者やご家族参加型のイベント等を設けることができるように前向きに検討していきます。 ・受け身になることなく、「こうしたほうがもっとよくなる」という時には、積極的に助言等をさせていただきます。